

# 勤怠管理システム導入及び運用保守一式

## 総 合 評 価 基 準 書

令和2年7月

岡山県国民健康団体連合会

## 1 はじめに

本書は「勤怠管理システム導入及び運用一式」に係る調達の評価基準について示すものである。

## 2 総合評価の方法

入札価格及び提案内容をもとに、価格点及び技術点を算出し、その合計点数を総合評価点数とし、最も高い者を落札者とする。

なお、価格点を 1,000 点、技術点を 2,000 点とする。

## 3 技術点・価格点

### 3.1 全般

技術点は、基本的事項に対応する基礎点と、提案依頼事項に対応する評価項目毎の加点の合計の値とする。

なお、価格点の配点を 1,000 点、基礎点の配分を 200 点、加点の配分を 1,800 点とする。

表 1 技術点・価格点の配点

評価区分	評価項目		配点		
			基礎点	加点	計
必須	基本的事項	調達仕様書記載事項	100 点	－	100 点
		見積書記載事項	50 点	－	50 点
		その他の事項	50 点	－	50 点
加点	提案依頼事項	提案内容の実現性	－	400 点	400 点
		システム全般の有効性	－	650 点	650 点
		その他特記事項		150 点	150 点
		経済性に係る事項	－	600 点	600 点
総計			200 点	1,800 点	2,000 点
価格			－	－	1,000 点

### 3.2 基本的事項

評価項目の基本的事項に関しては、別添1「総合評価項目一覧（基本的事項）」に示された事項について、提案の内容が調達仕様書に記載する要求要件等に照らし、最低限の要求要件等を満たしているか否かを評価し、合格、不合格の判定を行うこととし、必須項目に掲げるすべての要件を満たしている場合には、基礎点（200点）を与え、必須項目に掲げる要件について、満たさないものがある場合には、不合格とする。

### 3.3 提案依頼事項

提案依頼事項については、提案書審査者が別添2「総合評価項目一覧（提案依頼事項）」に示された評価区分「加点」項目に係る提案内容を審査し採点する。

なお、提案依頼事項については、加点項目毎に提案書に記載された提案内容に応じて、加点配点の範囲内の得点（最高1,800点）を与える。

- (1) 提案依頼事項に対応する技術点は、提案書審査者の採点について、評価項目毎に平均して算出する。なお、算出値は小数点第三位以下を切り捨てた値とする。
- (2) 提案依頼事項に対応する技術点の得点割合は、以下に示すとおりとする。  
ただし、経済性に係る事項に関する技術点の配分は、「3.4 経済性に係る事項」に示すとおりとする。

表2 提案依頼事項に係る採点基準と対応する得点割合

評価	採点基準		得点割合
5	特に優れる	具体性及び実効性があると認められ、特に優れているもの。	100%
4	優れる	具体性及び実効性があると認められ、優れているもの。	75%
3	標準的	具体性及び実効性があると認められ、評価できるもの。	50%
2	やや劣る	具体性及び実効性が一定程度認められ、部分的に評価できるものもしくはやや劣るもの。	25%
1	劣る	具体性及び実効性に欠け、評価できないものもしくは特に劣るもの。	0%

### 3.4 経済性に係る事項

経済性に係る事項については、「提案書作成要領」の別添3「令和3年度～6年度のランニングコスト見積書」に基づき提案された見積費用を価格と妥当性等の2つの観点でそれぞれ審査し採点する。

- (1) 経済性に係る事項（価格）に対応する技術点の得点割合の算出に当たっては、提示された各見積費用のうち最も低い価格（下図のa）を提示した業者の得点割合を100%とする。その他の事業者（下図のb）の得点割合については、以下の計算式にて算出する。

$\text{得点割合 (\%)} = a/b \times 100$
-------------------------------------

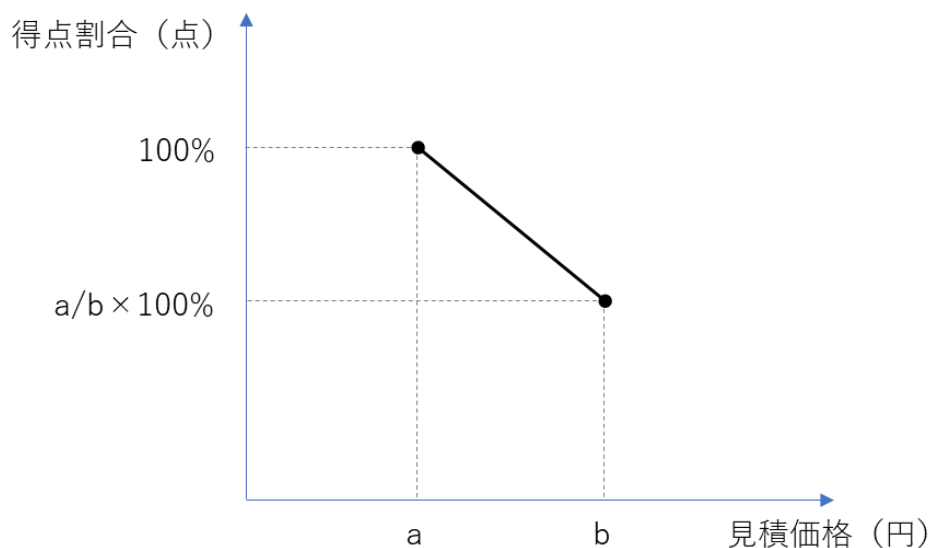


図1 経済性に係る事項（価格）の得点割合算出方法

また、得点については以下の計算式にて算出する。

$\text{得点} = \text{配点} \times \text{得点割合 (\%)} $
--

※価格は令和3年度におけるランニングコストを算出する。

- (2) 経済性に係る事項（妥当性等）に対応する技術点の得点割合の算出に当たっては、提案書審査者が提示された各見積費用と提案内容を以下の採点基準及び得点割合により審査し採点する。

表 3 経済性に係る事項（妥当性等）に係る採点基準と対応する得点割合

評価	採点基準	得点割合
5	妥当性及び実効性があると明確に認められるもの。	100%
4	妥当性及び実効性があると認められるもの。	80%
3	妥当性及び実効性があると概ね認められるが、いくつかの不明確・不足な点があるもの。	60%
2	妥当性及び実効性がある点も多いが、一定程度不明確・不足な点があるもの。	40%
1	妥当性及び実効性に相当数の不明確・不足な点があるもの。	20%

- (3) 経済性に係る事項に対応する技術点の算出値は小数点第三位以下を切り捨てた値とする。
- (4) 審査対象の業者が 1 社の場合、経済性に係る事項（価格）経済性に係る事項（妥当性等）の評価に係る得点割合で算出する。

例 経済性に係る事項（妥当性等）の評価が「4」の場合

経済性に係る事項（価格）＝400 点（配点）×80%（得点割合）

経済性に係る事項（妥当性）＝300 点（配点）×80%（得点割合）

経済性に係る事項（参考価格）＝100 点（配点）×80%（得点割合）

### 3.5 価格点に関する事項

価格点は、予定価格に対する入札価格の割合に応じた点数を与えるものとし、以下の計算式にて算出する。

$$\text{価格点} = 1,000 \text{ 点} \times (1 - \text{入札価格} / \text{予定価格})$$

### 3.6 失格要件

- (1) 基礎点が 200 点（満点）未満は失格とする。
- (2) 技術点を集計した結果、合計点が 1200 点（技術点 2000 点の 60%）未満の入札業者は、要件を満たしていないと判断し、失格とする。